

磐城時報

編輯部 石城郡平町新田十四
印刷部 石城郡平町新田十四
發行部 石城郡平町新田十四
電話 一三三三
廣告部 石城郡平町新田十四
印刷部 石城郡平町新田十四
電話 一三三三
廣告部 石城郡平町新田十四

中正會を解散し 辛未俱樂部發會

吉田、吉村、齋藤各議員を加へ 俄然平町會の絶對多數

平町會議員の集團中最も勢力を國府田直良等をも入会せしめてきた中正會では過渡期を過ぎんとし、對策中であるから早晩實の一黨の擴大運動に努力し町會現存すべく同會は平町會の絶對多數議員の入會を勧誘中であつたが半数を有するに至つた同會の趣旨を吉村安次郎、吉田寅之輔、齋藤啓吉を聞くに左の如きものである。平町會は改選以來小黨分裂して鼎立し互に反目してゐるため町治の圓滿を期し得ない。辛未俱樂部は絶對中立の立場に於て町治の發展を期せんとするものである。

町會各派で 對策講究

坂本隆藏、關内正一、織川喜三郎、根本品藏、鈴木光吉、馬目武之助、吉村安次郎、吉田寅之輔、齋藤啓吉の九議員が集合し中正會を解散し、從來の中正會員以外には前項辛未會の發會に當り議員のつた人は前記の如く吉田、吉村、齋藤の三氏であるが更に同してゐる各派では大いに驚き目俱樂部では吉田五平、柳下元吉下對策を講究中である。

助役にかつがれて 幸福か? 迷惑か?

遠藤助役死亡後欠員中であつたで平第一小学校長會我直治氏を平町助役後任の人選は事務多忙に推せんといふ對策するな平町として緊急を要する問題者が現はれた、聞く處によるととして伏見町長も頭を悩まして町會議員中吉田五平氏が會我氏を、こゝに端なくも有志間と同郷人の關係から同氏に白羽行から借入れを了したが、工事する公金預金の善後處置に對す

入山全従業員に 一万余圓の賞與金

石城郡湯本入山炭礦では二日勞認可の指令になく、接しな労働者十八百三十二名に對し最高つた、めしば、陳情中のごこ四十圓最低二圓平均八圓の賞與をいよ、今明日中に發令を見支給する事になつた、この總額一萬一千圓で前期より千五百圓の増加一人平均一圓の増加で内定した。

豊間漁港 十五日頃着工

石城郡豊間村では總工費二十萬餘圓で三ヶ年繼續事業として豊間漁港の改修を計六年度着工の豫定であつたが、縣補助交付附が六年度に實現を見なかつたので六年度は自力を以て約三萬圓を出し改修することになり、縣當石城郡各町村では明二日午前十日から急選平町に町村長會を開き、その結果を以てこれに

けてゐるので月給九十圓の助役連絡對策を打合せが同預金ぬれ状態にあるので確定すれば、高は全部で十四萬餘圓に上り目町村共自治財政に支障を來すは、下の處では上結果で高々一割不勿論相當の地方問題を惹起する、首尾なれば全然配當に有り付か模様で成行きを注目されてゐる。

持て余した妻を 平署で同情して保護

發狂した妻を

名古屋市西區平町二丁目服部千賀、植田、勿來兩市場が約一(三九)妻ハルヨ(四二)は十五萬七千貫、片倉製糸が約九千貫、日程前發狂したため生活に困り合計八萬五千貫となるから、ハルヨの實家双葉郡刈野村字室後の五千貫の出廻りあるとして、原立川高治方を頼つてハルヨをも結局最初の見込みより約一割預けやうと三十圓尋ねて來たが、強の減は免れないらしい。

石城の繭收 約十萬貫

石城郡下における春繭生蠶は大體において約十萬貫と豫想されてゐるが六月三十日現在による石城農蠶同業組合の調査を見るに、四倉市場の取引が約二萬五

川瀬坑復活 一日から採炭

石城郡赤井川川瀬炭礦は昭和四年九月出水のため休山して以來極力排水作業中であつたが排水を了したので七月一日から採炭に着手する事になつた。

石城町村長會 磐銀領金對策を協議

石城郡各町村では明二日午前十日から急選平町に町村長會を開き、その結果を以てこれに

全縣にトツプを切つた 磐中の作業科

今年から向ふ五年間の期間で設けてゐるためどの程度の經費を要する事となつた縣下中等學校を要すかは不明であるが設置科の作業科は磐城中學校が四月一日は手工、園藝、木工等で縣學日から實踐して本縣中學校のトツプを切つたがその經費等は校務課では同校の經費の報告を待

松竹樂劇部福井茂氏一行三十余名の夏期移動興行の來平は既報の如くであるが愈々明日二日午前十一時十分平驛着當日より平館に於て淺草松竹座其のまゝの諸設備にて劇目はいり抜きものに於て華々敷く公演する由フアンの人氣いやが上にも熱狂してゐる。

福井茂氏一行 愈々明日より公演

一行三十余名

川江普通水利組合では組合員中における負擔金滞納の少ない點に就て他の各種組合に對して誇りとしてゐるが打續く農村の不景氣から五年度分の負擔金未納者簿葉餘額外九十名餘を出すに至つた、この組合としては從來の成績に鑑みて出來得る限り手心を加へ整理に當つたが、更に納附を見ないので已を得ず来る八日午前十時から平町の組合事務所で差押へ物件を競賣すること。

差押物競賣

本村友衛一行 關東浪界平樂館開演の花形木村友一行は七月一、二の兩日午後五時から平町樂館に開演するが出し物は得意河内山宗俊外

印刷物は一加納活版所へ

一講で前人氣湧くが如く非常に

